



国会議事堂 (こっかいぎじどう) 塔の高さは 65.45m。日本政治の中心となる建物である。現在の建物は大正9年(1918)から17年もの歳月をかけて右側が参議院、左側が衆議院。道路を隔てて首相官邸や憲政記念館、国会図書館などが建つ。衆議院見学 03-3581-5111

日本水準原点 (にほんすいじゅんげんてん) 日本の陸地測量「標高基準」となる点が明治24年(1891)に設置され、ここに納められた水晶板のゼロ目盛りの高さが、東京湾平均海面上 24.500mと決定された。国会前に立つ。

憲政記念館 (けんせいけいかん) 議会開設80周年を記念して開館。憲政の歴史を映像や多くの資料から学び、議場体験コーナーで国会の雰囲気にも触れ、国会の役割が詳しく理解できる体験学習も可能。03-3581-1651

警視庁本部庁舎 (けいしちょうほんぶつちゆうしゃ) 横田門から虎ノ門一帯は広島、福岡など20箇所から虎ノ門一帯は広島、福岡など20箇所

ものの大名屋敷があったが、明治維新で空き地となり、大慶後廢帝間に官邸が移ってきた。昭和9年(1934)、近代的な機能をもつ行舎になった。警視庁本部庁舎の警察参考室や通信指令センターが見学できる。03-3581-4321

霞ヶ閣官庁街 (かすみがやかくかうじがい) 江戸時代は大名や武家屋敷が置かれた。明治になって官庁は、丸の内

の大名屋敷跡に設けられたが、明治5年(1872)の大火以後、外務省が所在し、霞ヶ閣という言葉は外務省の代名詞として慣用されてきた。建設省(現国土交通省)や大蔵省(現財務省)は大手町、文部省(現文部科学省)は一ツ橋、通産省(現経済産業省)は木挽町(中央区)にあったものが、今は霞ヶ閣に集まり官庁街をなしている。

二重橋 / 皇居外苑 (にじょうばし / こうきゅうわいえん) 江戸時代に木橋の橋桁が二重になっていたので二重橋の名がある。江戸城が美しく見える名所のひとつ、白砂利のしきつめられた広場は皇居前広場。その周辺は皇居外苑として黒松が配され

た。英國大使館(えいこくたいしかん) 直接濠へだてて吹上御苑に面し各大使館中抜きひいた位置にあり明治期における大英帝国の権威をしのばせる。大使館前の桜並木は、明治30年(1897)当時の公使アーネスト・ソートーが東京市に寄贈した。

た広大な史跡公園となっている。
最高裁判所 (さいこうさいしょ) 茨城県産の花崗岩で覆われた地上5階建、地下2階の重厚な建物は、126億円をかけて建造された。裁判制度が学べ、166席の傍聴席と15名の裁判官が座る大法廷が見学できる。TEL03-3264-8151

国立劇場 (こくりつけいじょう) 旧新術團指司部跡で明治初期の建物として保存されている。現在は染織、陶磁、ガラス、漆工、木竹工等の工芸や工業デザインを収蔵展示している。03-5777-8600

半蔵門 (はんぞうもん) 伊賀忍者、服部半蔵成の組屋敷があった。江戸城の裏門にあたり四谷、新宿を経て甲州街道・青梅街道に直結していた。

英國大使館 (えいこくたいしかん) 直接濠へだてて吹上御苑に面し各大使館中抜きひいた位置にあり明治期における大英

帝国の権威をしのばせる。大使館前の桜並木は、明治30年(1897)当時の公使アーネスト・ソートーが東京市に寄贈した。

千鳥が淵戦没者墓苑 (ちどりがふちせんぼしゃぼくえん) 第2次世界大戦での戦没者の不明の遺骨35万体を埋葬している。昭和34年(1959)に建設された。

国立近代美術館工芸館 (こくりたいじゅつかんこうげいかん) 旧近衛師団指司部跡で明治初期の建物として保存されている。現在は染織、陶磁、ガラス、漆工、木竹工等の工芸や工業デザインを収蔵展示している。03-5777-8600

北の丸公園 (きたのまるこうえん) 東京を代表する桜の名所、千鳥ヶ淵に面し、池が配され芝生が広がる。

科学技術館 (かがくげいじゅつかん) 幕末維新からの軍事に関する参考品やレプリカ、遺品が展示されている。03-3261-8326

毎日新聞東京本社 (まいにちしんぶんしゃ) 明治5年(1872)、東京浅草の日報社からでた東京日日新聞(東京で初めての日刊紙)を始まりとする。三大新聞の一つである。03-3212-8458
日本武道館 (にっぽんぶどうかん) 正八角形、銅板か

やぶき屋根の法隆寺夢殿を模して造られた。東京オリンピック時は、柔道会場及び武道のデモンストレーション会場だった。

昭和館 (しょうわかん) 戦中戦後の生活の姿を伝える実物の資料を収集、保存、陳列し、後世代の人々に伝えていく。常設展示室は、当時の生活用品を8つのテーマに分けて展示。当時のニュース、映像、音楽などを閲覧できる映像室もある。03-3222-2577

靖国神社 (やすくにじんじゃ) ベリ一来航から昭和20年(1945)の第2次世界大戦の終戦までの殉死者、戦没者の靈を祭神としている。

遊就館 (ゆうしゅうかん) 幕末維新からの軍事に関する参考品やレプリカ、遺品が展示されている。03-3261-8326

日本武道館 (にっぽんぶどうかん) 正八角形、銅板か

は神保町。明治30年(1897)頃、武家屋敷跡に学校ができ、それに付属して本屋ができるはじめ、とくに関東大震災後、神田は本の街になった。パリのセーヌ河畔の古本屋街とともに世界的有名である。

大手町 (おおてまち) 江戸城本丸の大手門前の武家屋敷跡で、大手町ビル・新大手町ビルが昭和30年(1955)代に造られて丸の内ビル街と連なった。厚生労働省・気象庁・国税庁の各省庁やサンケイ・日本経済・読売の各新聞社などが建つ。

富士見多聞櫓 (ふじみたんばれいとう) 三重櫓の富士見櫓は、慶長11年(1606)の本丸造営の時、加藤清正によつて櫓台が築かれ、海拔21mの本丸で最高所にある。

百人番所 (ひゃくにんばんしょ) 鉄砲百人組のいた所で、大手内三ノ門を警護していた。25騎組・伊賀組・根来組・甲賀組の4組があり、各組100人ずつ

の同心がいた。さらに百人組に1人の頭を置き頭は大名であった。江戸城は明神社を新江戸城大手門正面とし、社跡を供養したがいつとはなく将門の首塚として崇められた。江戸城は明治になり大蔵省の建物が建ったが、何かとたりがあるるので調べると将門の上とわかり、改めて祀られた。

将門塚 (まさかづか - もんづか) 家康が江戸に入る以前から平将門を祀る明神社があった。家康は明神社跡を新江戸城大手門正面とし、社跡を供養したがいつとはなく将門の首塚として崇められた。江戸城は明治になり大蔵省の建物が建ったが、何

かとたりがあるので調べると将門の上とわかり、改めて祀られた。

天守閣跡 (てんしゅくごくあと) 旧本丸御殿大奥の北にある。約20mの石垣の上にかつて5層の櫓閣がそびえていた。

旧本丸跡 (きゅうほんまるあと) 天守閣のある本丸は、幕府の政府である表向と、將軍の公邸にあたる中奥向、將軍の私宅の大奥からなっていた。

旧三の丸 (きゅうさんのもん) 平川門から南の大手門守衛所にかけて宮内庁病院・覆馬場などがある。

富士見多聞櫓 (ふじみたんばれいとう) 三重櫓の富士見櫓は、慶長11年(1606)の本丸造営の時、加藤清正によつて櫓台が築かれ、海拔21mの本丸で最高所にある。

読売新聞社 (よみうりしんぱしょ) 世界最大の発行部数を誇る日刊新聞。ここには全国の通信網と世界からのニュース原稿が集まり、編集、制作の過程を経て超高速輪転機で印刷、発送されている。新聞制作体験コースでは実際にパソコンを使って原稿入力や写真取り込みなど新聞作りができる。03-3217-8399

有楽町 (ゆうらくまち) 茂田信長の弟の茂田有楽の江戸屋敷があつたため、有楽町の名が起きたといふ。銀座駅から車両モギリギン人が指導したが明治10年代には日本人の手で東京へと伸び、現在は繁華街で、銀座で売るものは流行の最先端をいく一流品といわれる。

放送のニューメディアなどを中心に歴史や未来の通信を实物や模型で展示している。03-3244-6811

東京証券取引所 (とうきょうしょうけんとりひきじょ) 新幹線、在来線を含め1日に400本以上の列車が発着し日本一。乗客数では1日平均210万人と新宿駅の430万人に日本一をゆく。駅を中心に開発進行中。

東京国際フォーラム (とうきょうこくさいフォーラム) ホールと会議室、展示ホール、情報センターなどを備えた東京で初のコンベンション＆アートセンターで工事期間5年、総工費1650億円の建造物である。地下1階に相田みつを美術館がある。

新橋し保留 (しんばししおとめ) 貨物駅が再開発され高層ビル街に変わった。もとよりこの地は鐵道発祥の地。明治5年(1872)、國営の新橋・横浜間の鐵道が開通した。貨物車両モギリギン人が指導したが明治10年代には日本人の手で東京へと伸び、現在は繁華街で、銀座で売るものは流行の最先端をいく一流品といわれる。

銀座 (ぎんざ) 銀座とといえば、東京を代表する繁華街で、銀座で売るものは流行の最先端をいく一流品といわれる。今日、銀座にかかる繁華街はある問題として理解できる。

が、銀座の価値は失われていない。東京証券取引所(とうきょうしょうけんとりひきじょ)と、うきょうしょうけんとりひきじょと共に証券市場の国際化も進み、現在、東証アローズといふ。マーケットセンターを始め証券史料ホール、東証プラザといった施設が見学できる。03-3665-1881

朝日新聞社 (あさひしんぶしょ) ネルソン方式といふ電子と光の新聞づくりをしている。IBM社と協力して昭和40年(1965)から15年の歳月をかけて研究開発した新聞製作技術である。明治12年(1879)大阪で創刊された。見学コースあり。03-5540-7724

新橋し保留 (しんばししおとめ) 茂田信長の弟の茂田有楽の江戸屋敷があつたため、有楽町の名が起きたといふ。銀座駅から車両モギリギン人が指導したが明治10年代には日本人の手で東京へと伸び、現在は繁華街で、銀座で売るものは流行の最先端をいく一流品といわれる。

銀座 (ぎんざ) 銀座とといえば、東京を代表する繁華街で、銀座で売るものは流行の最先端をいく一流品といわれる。

ストップおんだん館 (すとっぷおんだんかん) 地球温暖化を身近な問題として理解できる。